

全日本柔道連盟公認指導員更新講習会受講報告

島根県柔道連盟主催の令和5年度第1回全日本柔道連盟公認指導員講習会が6月24・25日の両日、江津市立江津中学校で開催されました。

全日本柔道連盟公認指導員は、段位やその経験年数によって、準・C・B・Aに分けられていて、この度、私もC指導員の更新講習を受講して参りましたが、島根県柔道連盟の講師の一員として、当会の永井康子会員が、講義の1コマを担当されました。



講義の内容は、J S P O（日本スポーツ協会）が推進するACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）というもので、このプログラムは、



運動に親しむ機会が減っている最近の子供達に対し、楽しみながら積極的に体を動かす事を体験する取り組みで、柔道においては、子供や未経験者の初期段階や、本格的な練習のウォーミングアップなど多様な動きを経験する事で安全に楽しく身体能力の基礎を育成する事を目的とするものです。

永井会員は、本年2月11日に全柔連主催のACPを活用した指導者講習会に参加され、この度の講義を含め今後もACPの普及を通じて様々な場面での活躍を期待されておられます。

私も地元の柔道連盟に所属していて、週2回の少年柔道教室に指導者として参加していることから、全柔連公認指導員資格を取得しました。高校まで競技者として柔道に取り組み、その後、柔道整復師として仕事する傍、柔道を通じて地域の子供たちと関わる中で、この度の講習で学んだ事を今後の活動に活かして参りたいと思います。

